

株式会社 辰巳組

〈事業計画名〉解体工事の先に見える未来を紡ぐ「おもてなし解体業の確立」



「家のおくりびと」として解体の先に見える 未来を提供する新型サービスの構築

事業の背景

思い出ある家の解体に対する思いやり

吉野を始めとする過疎地域において課題となってきたのが「空き家問題」で、「空き家対策特別措置法」が施行されるなど社会的問題として近年注目を集めている。市町村やNPOなどの取り組みもあり、移住希望者への賃貸契約の促進なども進められているが、居住可能な状態に復元するには相当な費用を要するケースが多く、解体もやむを得ない物件が数多く存在する。だがそのような事態にあっても人的要因、資源要因、近隣とのトラブルなど数々の問題により解決の糸口が見えていないのが現状である。

また、解体を決意するも、役所やNPOなどの支援団体等との連携が図れておらず、地元によりながら施主とのマッチングができないことが多い。解体工事においても、大型重機を使用した一括解体で、その工事に「丁寧さ」や「手間暇」はかけらなくても含まれておらず、「壊す」という目的のためだけの作業となり、十分な防音・防塵対策をしない、周囲に対する安全対策を行わない、産業廃棄物を適正分別しない等のトラブルも発生している。

そこで当社は「空き家問題」に係る解体工事に関するトラブルを低減するために、施主・事業者・各団体が連携した新たな解体施工プロセスによる「おもてなし解体業」を確立した。

事業の成果

「おもてなし解体業」プロセスの構築

本事業においては、まず地域・役所・NPO・業者が連携し、今まで当たり前であった作業の在り方を丁寧に見直すことで、それぞれの情報を共有しあう支援体制を構築した。

それを元に解体工事検討から竣工までのプロセスを見直し、現地確認や手順説明など、依頼主とのコミュニケーションを重視することで納得できる工程を作成。それによりトラブルは軽減し、作業への丁寧さの向上にも繋がった。

解体工事施工方法においても改革を行い、できる限り手作業で一つずつ解体する、適切な機械で丁寧に施工する、建物がなくなった跡地まで綺麗な状態に戻す等、「ただ壊す」から「感謝を込めてみおくる」へとサービスを展開。それにあたり、保有の大型重機より小回りが利き、騒音・排ガスに配慮された小型重機を導入し、他社及び自社の旧来法から周辺家屋や環境に配慮された安全で適正な工法を確立した。

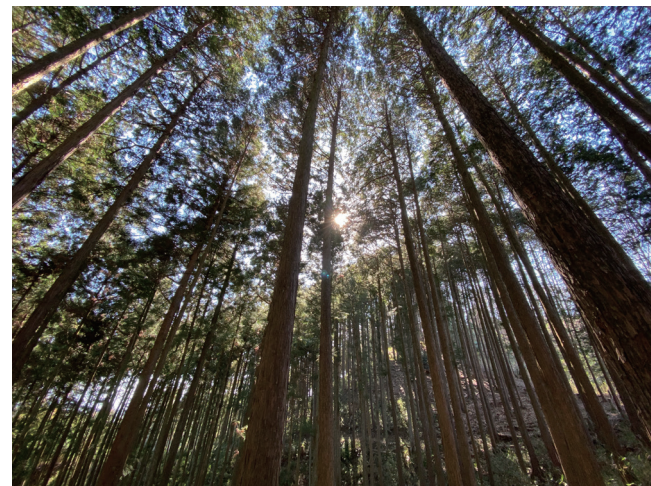


株式会社辰巳組の経営理念

自然と人が安全で安心して共存できるまちづくり

吉野は「吉野林業」として古くから林業を生業としてきた。人工林である吉野の山は、整備を行わなければすぐに荒廃が進み、山が荒れると土砂災害などが起こりやすく、人々の生活を脅かす。山を整備する土木事業は、生活を便利にする以外に災害を未然に防ぐための環境整備でもあり、地域の人々が豊かな暮らしを送るために欠かせないものとなっている。

当社は昭和5年に奈良県吉野郡吉野町に誕生して以来、90年以上にわたり建設業という仕事を通じて、吉野の自然と人々の安全をつなぐ架け橋であり続けたいという信念の元、「山を守り続ける」ことの大切さをこれからも伝え続けられる存在でいられるよう努めていく。



株式会社辰巳組の概要

地域で一番愛される「100年企業」を目指す

社長、総務部長が女性である当社は、総合建設業として吉野を中心に奈良県全域で事業を展開するとともに、社員サポート体制の強化に努めている。一つの現場に対して一人に任せきりではなく、全員で作業内容を共有・分担し、社員同士の信頼関係を築く職場環境があることで、ミスの軽減や「無事故・無災害」にもつながると考える。

また、全員が土木施工管理技士の資格を持ち、長い現場経験に培われた技術と知識を持ち合わせた熟練の職人が在籍する当社は、社員同士の仲が良いのはもちろん、お互いに注意し合える信頼関係を築いてることから、就業規則にとらわれず、事業に応じて臨機応変に対応し、これからも地域に貢献していく。

株式会社辰巳組の事業内容

総合建設業として「土木工事」から「建築工事」と多岐にわたり対応可能



舗装工事



建築工事



解体工事



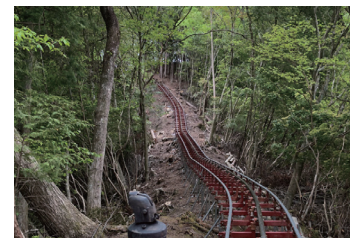
法面对策工事



土木事業



トンネル整備工事



モノレール設置工事



土砂撤去工事

株式会社 辰巳組

業 種 分 類 総合工事業

事 業 内 容 土木・建築・舗装・塗装・水道・解体工事

代 表 者 名 代表取締役 辰巳 伊佐子

所 在 地 奈良県吉野郡吉野町南大野387-1

連 絡 先 TEL:0746-36-6018/FAX:0746-36-6102

ホームページ <http://www.tatsumigumi.co.jp>

E - M A I L info@tatsumigumi.sakura.ne.jp